

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		山形県立こども医療療育センター 児童発達支援センター				公表日	R7年 2月 12日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・利用人数や行事など活動に合わせ、体育館を使用したりグループ分けをしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・保育室内のシーソーやボールプールコーナーには、活動と小休憩の切り替えが出来るよう仕切りを設けています。 ・掲示物は1か所にまとめています。 ・活動内容やスケジュールはボードに掲示し、お子さんと一緒に確認しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・保育の前後に消毒と清掃を毎日行い、窓やカーテン、畳などは定期的に掃除を行っています。 ・親子が快適に過ごせるよう、換気・冷暖房・加湿器・扇風機等の調整に留意しています。 ・寒さ対策として、食堂窓に断熱シートを使用しました。	・冷暖房の効きが悪く、センター内の温度差が大きくご迷惑をおかけしております。今後も検討を重ねてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・お子さんや保護者と相談し、必要に応じて状況に適した部屋や場所を提供しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・各グループ内での話し合いやミーティングで意見を出し合い改善しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	・第三者による外部評価は行っていませんが、虐待防止委員会の外部委員よりセンター全体への指導や助言をいただいています。また、関係機関の見学受け入れを随時行っており、開かれた業務を心掛けています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・毎年、全員がさまざまな研修を受講しています。		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・職員全員で検討して作成し、R6年11月にホームページに公表しました。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・担当保育士、児童発達支援管理責任者を中心に、グループ職員全員で分析・検討し作成しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・遠城寺式発達検査表やポーターズプログラムチェックリストを参考ツールとしています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	・お子さんの発達状況やお子さん同士の関係に考慮して、同じ遊びでも目的を変えています。 ・保育計画作成時や打ち合わせでは常にアイデアを出し合っています。 ・お子さんによっては同じ遊びを繰り返すことで学習効果が得られたり、安心して参加が出来るようになるため、一人ひとりに合わせ	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	・親子の希望に添い、午後の個別保育を行っています。 ・集団活動の中でも、必要に応じて空間を分けて個別活動を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	・必要に応じて担当保育士と児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	・お子さんの状態や保護者の思いに寄り添いながら、インクルージョン推進に取り組んでいます。 ・文書や電話での情報共有の他に、訪問や見学にて連携を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	・幼保小連絡会に参加しています。 ・見学や訪問での連携、情報提供書の作成を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	8		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	8	・上山市自立支援協議会に参加しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	・感染症対策やプライバシー保護に留意しながら、「コパル」や「めんごりあ」等の遊び場利用時に交流の機会を作っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・親子の変化に気づき、成長の芽を逃さないよう、引き続きより丁寧な観察や情報共有を行っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	・年2回、保護者研修会を実施しています。また、参考となるようなお知らせは、配布または掲示をしています。	・ペアレントトレーニングやポータープログラムが活用されるよう、利用開始時及び必要に応じて説明していきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	ご不明点の申し出には速やかに対応しています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		・ひよこグループは、交流のきっかけや情報交換の場として保護者同士のおしゃべり会を随時行っています。くじらグループは今年度から開始しました。うさぎグループも今年度中に開始出来るよう調整を進めています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		
	41	定期的におたより等を発行することで、活動の様子や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・利用開始時及び年度初めに確認をとっていますが、外部への作品展示や写真掲載、取材等の際は、改めて内容をお知らせし再確認しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・一人ひとりに合わせ、分かりやすく伝わりやすい工夫を、お子さんや保護者と相談しながら行っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		・感染対策の観点から行っていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・年度初めに各マニュアルの周知と説明を行っています。 ・定期的さまざまな場面を想定し訓練を行っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・定期的にさまざまな場面を想定し訓練を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・アセスメント時及び通園開始前の担当者会議で確認しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・指示に基づき対応しています。食札にも明記しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		利用開始時及び、避難訓練時や所外活動時に説明や確認を行っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		毎月の会議にて、検討・周知されています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		毎年、全員が研修を受講しています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8			